

近畿中国森林管理局

広島北部森林管理署 ひろほく通信

ケーススタディ会議を開催しました

広島北部森林管理署では、平成 28 年度に国有林と隣接する民有林との協調施業・販売、路網の相互利用など民国連携した取組の実現に向けたケーススタディ会議を設け、これまで、様々な取組を展開してきました。引き続き、民国連携した取組の実現を図るため、6 月 13 日、神石高原町、神石郡森林組合、広島県及び広島署、広島北部署の関係者が出席した本年度第 1 回目のケーススタディ会議を行いました。この会議では、昨年度の取組成果の報告に続き、今年度に取り組む事項について意見交換を行いました。具体的には、新たな森林共同施業団地の設定やドローンの新たな活用に向けた現地検討会などについて議論しました。広島北部森林管理署では、今年度も、この会議を通じた民国連携の実現と、その成果の定着に取り組めます。



広島北部森林管理署長挨拶



取組を説明する署担当者



意見交換の様子



参加者からの意見

地域と連携した国有林グリーン作戦を実施

広島北部森林管理署では、地域と連携して国有林内に不法投棄されたゴミの撤去を、毎年、この時期に行っています。6 月 25 日、安瀬平山国有林 45、46 林班と国有林内を走る県道 52 号線沿線において、安芸高田市との共催により、国有林内に不法投棄されているゴミの撤去作業を行いました。当日は、署、安芸高田市職員に加え、びほく・森のサポーターズと、公募により応募した参加者を含めた総勢 29 名が大粒の汗を流しながら、空き缶、ペットボトルのゴミから、家電品などの家庭ゴミまで、2トトラック 2 台分のゴミを集めました。

集めたゴミは、共催者である安芸高田市が共同管理・運営する芸北きれいセンターへ持ち込み処理しました。また、ゴミ処理費用については、安芸高田市にご負担いただきました。



不法投棄されたゴミ



汗を流しながらのゴミ集め作業



きれいになった林内



自転車がいました

新たな民有林支援に取り組めます

今年度から、新たな森林管理システムが民有林において運用されたことから、広島北部森林管理署では、今年度新たに管内の市町の林務担当者を対象にした意見交換会を実施することとしました。林業の現場を観る機会が少ない林務担当者に木材生産現場の見学会や、森林施業などに関する座学などを中心に行うこととしています。6 月 24 日安芸高田市農林水産課の林務担当者を前に、署長が「森林・林業・木材産業の現状」をテーマに講義を行いました。その後意見交換に移り、様々な意見や質問がでました。このように、広島北部森林管理署では、市町が取り組む各種施策の実現に向けた支援(人材育成)に積極的に取り組めます。



講義を行う署長



安芸高田市農林水産課皆さん



真剣に耳を傾ける参加者



参加者からの質問



近畿中国森林管理局 広島北部森林管理署
TEL:0824-62-2155/FAX:0824-62-2156
〒728-0012 広島県三次市十日市中2-5-19

